

塩プロジェクト

塩の道をたどる

クリストフ・トレピエ 個展

SHIO PROJECT

SUIVRE LA VOIE DU SEL

CHRISTOPHE TRÉPIER

クリストフ・トレピエは私達を塩の道へと誘います。
個展とそれぞれの旅で撮り集めた数多くの写真を通して
‘人間社会における塩の位置づけ’について、実際の考察のみならず
巡回で垣間見た人間のあらゆる側面に独自の視線を投げかけます。

オープニングパーティ：12月11日(木) 18時

会期：12月11日(木)～12月18日(木)

会場：九州産業大学 美術館3F

(福岡市東区松香台2-3-1)

*開館時間、地図は裏面をご覧ください

入場無料

お問い合わせ(九州日仏学館)

Tel : 092-712-0904

メール: info@ifj-kyushu.org

詳細は当館HP (www.ifj-kyushu.org) をご覧ください

主催：九州産業大学、九州日仏学館

後援：ポルドー市、DRACアキテーヌ(文化事業地方局)、福岡市

疲れ知らずの旅人、クリストフ・トレピエは人間社会にみる塩への疑問から巡回を始めました。交流や分かち合いが必然とされる旅を中心に、トレピエは数年来、人間社会における塩の持つ象徴的な意味を探るといふ、芸術研究に力を注いでいます。塩の町、ボルドーを拠点にアキテーヌ地方と他の世界との間を絶え間なく行き来するこの活動で、彼は偉大な旅人達の跡を追い、調査し、収集し、そして感じたことをデザイン、写真、ビデオ、文書、彫刻…など新たな作品に還元しています。

福岡の個展では「白く不思議な物質」について先立って調査した際の写真を紹介。ヴェトナム、ラオス、カンボジアで3ヶ月にわたり撮った写真を展示し、彼が「民族美学」研究中に得た研究そのものと同じく重要である出会いに焦点をあてます。「塩プロジェクト」はボルドー・福岡の姉妹都市提携プログラムの一環。会場にはボルドーとその近郊の風景写真も展示されます。



クリストフ・トレピエ 略歴

造形アーティスト・写真家・監督

- 2008年 アキテーヌ博物館にて「塩の歴史」展を開催
- 2006年 ミシガン(米)のレイクサイド・ギャラリーに作品が所蔵
- 2005年 ジロンド県議会に作品が所蔵
- 2004年 ジロンド県議会主催コンクールにて受賞
- 1991年 ボルドーのアトリエに都市民族学のミクロ美術館【M.M.E.U.】開設
- 1989年 芸術家の活動促進と地位向上を目的に協会Dès cet été【D7TT】設立



JR九州および地下鉄(JR博多駅乗り換え)の場合
 ●JR 鹿児島本線 博多駅より
 小倉、赤間方面行き普通電車 / 約14分 九産大前 下車

西鉄バス-1
 ●天神バスセンターより 都市高速経由
 赤間、森林都市行き等 / 約20分 九産大南口 下車

西鉄バス-2
 ●中央郵便局前より 都市高速経由
 21A 雁ノ巣レクリエーションセンター、26A 赤間行き等 / 約20分
 九産大前、または 唐の原(とうのはる)下車

九州産業大学美術館 開館時間
 火曜～金曜 10時30分～18時
 土曜・日曜 11時30分～18時
 月曜は休館日